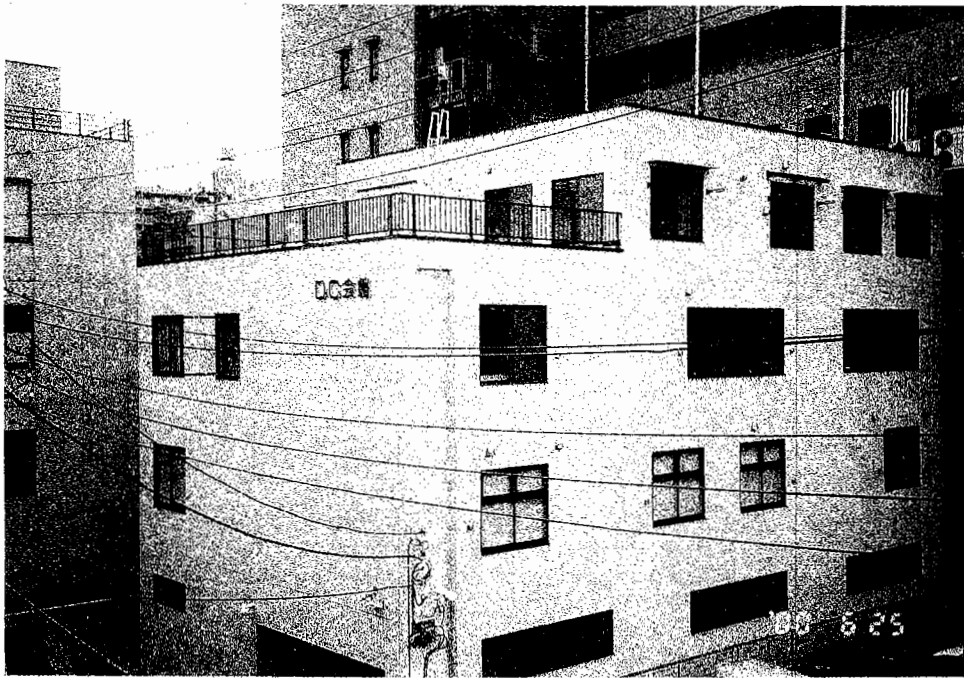


結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
2000.6.30 No. 5758

第43回定期委員会 準備 新会館竣工レセプション



清算事業団一〇四七名をめぐる闘いは、重大な局面を迎えています。国労中央本部は七月一日臨時大会を開催し四党合意—J.Rに法的責任なし—の受け入れを大会決定しようとしていきます。四党合意は「和解案」でも「解決案」でもなく、ただただ国労と国鉄闘争解体のためだけにのみかけられた攻撃であります。国労の四党合意受け入れは闘争団を切り

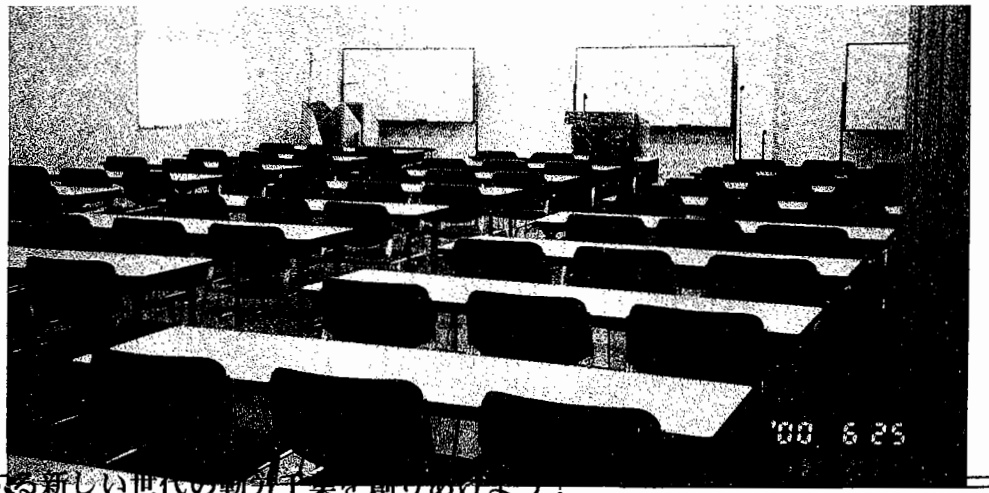
新会館の名称は、
「DCC会館」
です

捨てるだけでなくJ.Rで働く国労組合員にも屈服をせまるものです。たたかう国労組合員、闘争団と共に四党合意受け入れに反対しよう。

第四三回定期委員会は、こうした情勢の中で東日本の「シニア制度」粉砕を軸にした夏から秋への闘いの方針を決定する委員会であります。

DCC会館を
闘いの拠点に

委員会終了後、一五時より新会館竣工レセプションをおこないます。昨年の定期大会、臨時大会を経て決定され、一月から建設が始まった工事も六月に完成しました。DCC会館竣工は、われわれの二〇年間の闘いの結晶であり、財産でもあります。また、新しい世代の動力千葉を作り上げる闘いの拠点として、J.R総連解体—組織強化拡大と闘う労働運動



の新しい潮流を拡大するための団結の砦として、闘いの決意を内外に示すものとしてあります。DCC会館への引越しも完了し新会館で業務を開始しました。定期委員会とレセプションの成功をかちとり夏から秋へのたたかいへ全力で決起しよう七月八日全力でDCC会館竣工レセプションに結集しよう!

写真上 DCC会館の全景
写真下 大会講室

◎ 第四三回定期委員会
七月八日 一〇時より
◎ 記念レセプション
七月八日 一五時より